

氏名	H・K
専修	国際開発農学専修
学年	学部3年生
渡航先	ベトナム
期間	2018/9/16～2018/9/22
内容	<p>最も印象に残っているのは、<b>Seed Production Station</b> で聞いた話だ。そこでは、より良い品種を作る研究とその評価を行うワークショップが行われており、施設の職員と農家さんが一緒に、良い品種を毎年選んでいる。選ばれた種は、施設周辺の農家だけでなくメコンデルタの沿岸地域の農家にも売られ、農家は自分の土地で新しい品種を試すことになる。これは、農家のモチベーションが高いからというわけではなく、より良い品種を求めて試すことを政府が良しとしているからだという。日本では品種改良は行うが、ベトナムのように毎年農家に導入しない。日本のように同じ品種だけを育てていると病気などの被害を受けた時のリスクが高そうだが、日本はそういった場合の保険が充実している。品種一つに関しても、政府の姿勢や制度が影響するのだと感じた。</p>

